

第3回坂東市総合計画審議会 議事要旨

日 時：令和3年11月24日（水） 午後1時30分～午後3時20分

場 所：本庁舎3階大会議室

※委員の半数以上の出席が得られたため、坂東市総合計画審議会条例第6条第2項の規定に基づき、会議を開催。（出席委員数17名／委員総数20名）

議 事 （議長）

1. 【報告1】第2回審議会の書面開催（結果）について

- ・事務局より、資料に沿って内容を説明
→ 委員からの意見等無し

2. 【協議1】ばんどう未来ビジョン（素案）について

- ・事務局より、資料に沿って内容を説明
→ 委員からの意見等無し

3. 【協議2】第2期戦略プラン重点事業について

- ・事務局より、資料に沿って内容を説明
→ 委員からの意見等は、別紙のとおり

4. 今後のスケジュールについて

- ・事務局より、資料に沿って内容を説明
→ 委員からの意見等無し

【協議2】「第2期戦略プラン重点事業について」に対する委員からの意見等

当該箇所 (発言者)	意見等の概要
資料12 ページ 都市づくり_方針4 表3行目 「■環境保全に関する教育の推進」	<ul style="list-style-type: none"> 3列目の文中に「<u>幼少期</u>に学ぶ」との記載があるが、4列目の重点事業の記載では「<u>小中学生</u>や市民への環境保全の啓発」となっている。幼稚園や保育園等で幼児教育を行うことに効果があるのかどうかを含めて、例えば、「発達段階に応じて」といった表現にすることも考えられる。その点を教育サイドの方とすり合わせしていただきたい。
資料2 ページ ひとづくり_方針2 表3～4行目 「時代の変化に即した教育の推進」	<ul style="list-style-type: none"> 重点事業に「GIGA スクール構想の推進（利活用）」があるが、人によっては自宅にWi-Fi環境がないところもある。そういった状況の把握や環境整備への支援等も考えて進めていってほしい。 重点事業に「ALT（外国語指導助手）の効果的な活用」があるが、これは30年以上前から言われていることであり、今更記載することに強い疑問を感じる。英語教育の推進は、ALTだけではないので、表現を考え直したほうがよいと思う。
資料17 ページ 仕事づくり_方針4 表1～2行目 「■観光誘客の推進と受け入れ態勢の充実」	<ul style="list-style-type: none"> 平将門を観光資源とした事業を本気で進めるのであれば、東京（首塚）をはじめとした市外の関連史跡とも連携した観光ツアーを開催すること等が考えられる。また、それをネット上でどんどんPRして、坂東市の魅力伝えていってほしい。今はそれぞれがバラバラのような気がするので、もっとアイデアを出して、それを一体化させて事業を進めていく必要があると思う。やるからにはしっかりやってほしい。
資料12 ページ 都市づくり_方針4 表3行目 「■環境保全に関する教育の推進」	<ul style="list-style-type: none"> クリーン坂東については、これまでも開催してきたが、短時間のイベント的なものになっているのが実情であり、もっと工夫が必要である。ある団体では、子供たちが競い合ってごみ拾いを行うような仕組みを考えて実施しているところもある。クリーン坂東だけではなく、是非、そういったアイデアを出して、ごみを減らす取組みを実施していただきたい。

<p>資料 7 ページ 暮らしづくり_方針 3 表 5 行目 「■差別のない自由で平等な社会への推進」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重点事業にある「人権研修への参加」については、できる限り学校職員すべての方に参加いただきたいと考える。特に、いじめ問題については、市内の学校においても絶えない状況であり、むしろ増加している。保護者の立場からもそう感じる。坂東清風高校については、開校してまだ2年目であるが、今年の5月現在の調査では、すでに16名の生徒が退学している。その中には、いじめに遭った当事者だけではなく、「いじめを見ていることが辛い」、「いじめをしているグループに誘われるのが辛い」といった理由で学校を辞める生徒もいる。また、中学校でのいじめが、そのまま高校でも継続されているという事実もある。こういった問題への対策については、強く要望したい。
<p>資料 12 ページ 都市づくり_方針 4 表 4～5 行目 「豊かな地域資源の保全」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ヤード（自動車解体施設等）が増加している問題については、今後、法的な措置が必要となったときに理論武装できるように、都市計画マスタープランや総合計画等に市としての方向性を強く記載することが必要ではないかと考える。
<p>茨城県自然博物館について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県自然博物館については、坂東市にとってこれ以上ない施設であり、これまでも社会教育機関として貢献いただいているが、今後、観光商業分野での役割・ビジョンについて、どのような考えがあるのかを副館長である熊田委員に伺いたい。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(熊田委員より回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設としては、もっと多くの学校等に様々な教育の場として利用していただきたいと考えている。その点を本計画にも位置付けていただけるとありがたい。 利点を生かし、双方の協力があって推進していけるものかと思うので、今後も、双方にメリットがある関係として協力していきたい。